

2009年10月29日
グリーン・グリッド (The Green Grid) 広報事務局

2009年10月20日英国発表のプレスリリースの抄訳版です

<ご参考資料>

グリーン・グリッドが欧州の データセンター規制をまとめたガイドの第一弾を提供

グリーン・グリッド(The Green Grid、本部:米国オレゴン州ビーバートン)は、ヨーロッパのデータセンター業界に影響する政策・方針をまとめ、わかりやすいガイドを作成しました。このガイドは、現在および近い将来の方針に関して、組織が把握しておくべきあらゆる情報を提供し、短期ならびに長期的にもエネルギーの効率性を大幅に向上するために、グリーン・グリッドが取り組んでいる最新の活動のひとつです。このガイドには、グリーン・グリッドのホームページからアクセスできます。

気候変動やエネルギー問題が政策議題での重要性を高めています。そのため、EU(ヨーロッパ連合)ならびに各国レベルで、多くの包括的な政策的枠組みが作られています。データセンターの増加ならびに、それによるエネルギーの集中は、製品設計と設備におけるエネルギーの効率化に向けた取り組みに特に作用されます。12月のコペンハーゲン気候変動サミットでは、この取り組みが主要なハイライトのひとつとなると期待されています。

このような枠組みの数が増え、複雑になっているため、企業・組織にとって、法律の準拠、社会的責任、達成方法などが不確かとなっています。

企業・組織を支援するために、グリーン・グリッドは「The Green Grid Energy Policy Research For Data Centers (グリーン・グリッド データセンターのエネルギー政策調査)」というガイドを作成しました。フランス、ドイツ、オランダ、英国のデータセンター業界に影響する、既存ならびに将来のエネルギー政策がまとめられています。このガイドには、既存および将来の規制、インセンティブ、自発的な取り組みについての概要をまとめ、改善への実践的な手法も収められています。

グリーン・グリッドの EMEA 技術委員会代表のビック・スミス(Vic Smith)は、以下のように述べています。「このガイドから、規制は引き続き厳しくなっていることが読み取れます。今すぐに行動を開始し、ヨーロッパ全域にわたるデータセンターすべてにおいて、将来の規制に対応することをお勧めします」

ガイドでは、企業・組織に影響する最も重要な政策を中心に取り上げています。

政策	経済面	運用面	評判
Revisions to Energy Performance of Buildings Directive (EPBD) (エネルギー・パフォーマンス建築指令修正案)	重要 (不確定)	低	低

Revisions to Energy Labelling Directive (エネルギーラベル指令修正案)	中	中	中
Environmental certification (環境保証)	中	低	中
EC Code of Conduct (EC 行動規範)	低	中	中
Feed-in tariffs (電力買取制度)	中	低	低
Tax reductions (減税)	低	低	低
Forthcoming CRC (次期 CRC: 炭素削減義務)	重要	重要	重要
Expansion of Eco-Design Directive (エコデザインの拡大指令)	中	中	低
F Gas Directive (F ガス指令)	中	中	中
Increasing building codes (建築規制の増加)	重要	中	中
Evolving planning policies (計画・政策の考案)	中	中	中
Voluntary monitoring & reporting initiatives (自発的なモニタリング・報告)	低	低	中

最も重要なものは以下の通りです。

Revisions to Energy Performance of Buildings Directive (EPBD) (エネルギー・パフォーマンス建築指令修正案)

- 以前の EPBD は、あまり影響力はありませんでしたが、改訂版は、新建物については 2018 年までにゼロエネルギーであることが定められています。「ゼロエネルギー」の建物の定義は 2010 年末までに確立されます。加盟諸国は、既存建物の何割をエネルギー中立とするのか、2015 年と 2020 年の目標数値を最少パーセンテージで設定することとなっています。

施行間近の UK Carbon Reduction Commitment (英国炭素削減義務)

- 新しいカーボン取引市場が 2010 年 4 月から確立し、遵守できない場合には日々罰則が発生するため、データセンター関連団体に大きな経済的な影響を与えます。英国政府は 2050 年までに温室効果ガスを 80%削減するという法的拘束力のある目標を定めています。ガイドでは、異なるサイズのデータセンターにこの規制がどのような影響を与えるのか、指標となるモデルをいくつか取り上げています。

建築・設計関連の法律の増加

- ヨーロッパ、中東、アフリカ地域における違いはあるが、各国で増加するエネルギー効率化の基準に準拠するため、建築や技術的な設計に関する経済的な負荷が増えている。

このガイドでは、最適な達成方法と間近に迫った取り組みについて以下のような提言も行っています。

- すべてのステークホルダーは、(英国)カーボン削減コミットメントに関する準備とリスク管理が必要となる
- データセンター運用者は、エネルギー消費を自発的に計測・報告し、ハードウェア、ソフトウェア、設備を継続的に改善していく必要がある
- データセンター運用者は、減税や資本控除など入手可能なエネルギー効率化への取り組みを十分に利用する

グリーン・グリッドについて

グリーン・グリッドは、世界各地の会員企業によって構成される業界団体として、データセンターおよびビジネス・コンピューティングにおけるエネルギーの効率化を推進しています。グリーン・グリッドは、特定企業の製品あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおけるエネルギー効率の改善に必要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。会員の種類には、推進会員、一般会員、アソシエイト会員があります。グリーン・グリッドに関する詳細については、www.thegreengrid.orgをご覧ください。

###

【読者からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド事務局 Eメール: JAPANadmin@lists.thegreengrid.org

【報道関係からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド広報担当(フォーカスト・コミュニケーションズ株式会社) 水本/中村
電話: 03-5157-0033 Eメール: japanpr@lists.thegreengrid.org